海の宝！水産女子の元気プロジェクトについて

【令和6年10月】

海の宝！水産女子の元気プロジェクト

私たち水産女子の**愛**で、豊かな**海**を守り、育み、
未来の**子ども**たちにつなげていきます。

海の宝！

水産女子の元気プロジェクトとは…

水産業界で輝く女性たちが繋がり、新たな価値を創り出し、それを伝える活動を応援することで、100年先も豊かな水産業を目指すプロジェクトです。

繋がる

- ・全国のメンバーと交流
- ・勉強会開催
- ・悩みの共有

伝える

- ・活動紹介
- ・SNS発信
- ・講演活動
- ・イベント参加

創る

- ・企業やPJメンバーとのコラボ
- ・女性目線での商品開発
- ・イベント等企画

- ✓水産業界における女性の存在感を高める
- ✓「水産業」の魅力を高める
- ✓女性の力で水産業をもっと元気にする

水産女子メンバーの参画状況

◆ 全国より、水産に関わる多様な業種・幅広い年齢層のメンバーが所属

1. メンバーの年齢構成

2. 各業種に関わるメンバーの割合※1

業種	割合(%)
漁業	22
養殖業	9
加工業	15
流通※2	19
魚食普及	8
広報	5
団体職員	6
飲食業	3
その他※3	12

※1 兼業含む

※2 卸売、仲買・仲卸、小売含む

※3 音楽家、IT関連、宿泊業など

3. 都道府県別メンバー数

これまでの活動実績 (H30.11～R6.10)

活動実績～令和6年度～

令和6年8月

第28回ジャパンインターナショナルシーフードショーに出展！

活動実績～令和6年度～

令和6年2月

未利用魚に関するWEB会議

～未利用魚の別称を考える会～を開催しました。

令和6年8月

こども霞ヶ関見学デーにてパネル展示、
あふ食堂とのコラボを行いました。

海の宝!水産女子の元気プロジェクト

海の宝!水産女子の元気プロジェクト × あふ食堂

あふ食堂こども限定メニューに水産女子メヒカリの唐揚げ登場!

『遊ぶ、学ぶ、食べるプレート』に水産女子
吉田しのぶさんのメヒカリを使った唐揚げ
が登場! ふわふわサクサク食感のメヒカリ
をどうぞ!

吉田しのぶさん(漁師)

メヒカリってなに?
本来の名前はアオメエソ。
深海にすみ、目が光るので「メヒカリ」と
呼ばれています。脂ののった白身が絶品!

活動実績～令和6年度～

令和5年10月
第7回推進会議(3年ぶりの対面開催！)

令和6年2月
ECについてのWEB意見交換会を実施しました。

活動実績～令和5年度～

令和4年11月

参画企業メンバーとのオンライン勉強会開催

令和4年12月

参画企業カネコ総業とのモニター企画実施

令和5年3月8日

第6回推進会議(オンライン開催)

令和5年8月

水産女子PJ公式Instagram開設!

活動実績～令和4年度～

令和3年12月～4年4月
味の素+農業女子PJ+水産女子PJ
減塩レシピコンテスト

令和4年7月 農林水産省広報誌「aff」
特集 海ではたらく！
アクティブに輝く水産女子の活躍！

令和4年8月
ジャパン・インターナショナル・シーフードショー
「水産業に元気を！水産女子セミナー2022」

令和4年10月 政府広報番組
ビビるとさくらとトモに深掘り！知るトビラ
「海の宝！水産女子」を放送

活動実績～令和3年度～

令和3年4月7日
水産女子PJピンバッジ作成！

令和3年7月1日
NECライベックス×水産女子
社員食堂コラボが始まりました。

令和4年1月23日
FOOD & TIME ISETAN
YOKOHAMAでコラボ商品が発売さ
れました。

活動実績～令和2年度～

令和2年11月4～5日
 サロン・ド・アグリ・ジャポン
 伊勢丹新宿店に出店しました。

100年後の 水産業を担う!

水産庁
水産女子
 千葉県・大成

11/4 (水)・11/5 (木)

水産庁が立ち上げた「水産女子プロジェクト」は、漁業で働く女性ならではの視点とつながりで、1000年先も豊かな水産業を目指

す。商品は湯煎で食べることができ、冷凍で1年保存可能。高齢者施設や、魚焼き器のない東南アジアでもニーズを高めている。

会場では「きれいの煮付け」などを販売。千葉県銚子市の〈大成〉に所属する水産女子が来場。

活動実績～令和2年度～

令和2年11月1日
ジャパンハーヴェスト2020
Japan Harvestライブを行いました。

配信を行いました！
YouTubeでアーカイブを
要チェック👉

資料2

水産女子メンバー
活動報告書

【令和3年3月】

海の宝！水産女子の元気プロジェクト事務局

ジャパン
ハーヴェスト
2020

活動実績～令和2年度～

令和2年1月21日に第3回推進会議が行われました。
メンバーは51人。

活動実績～令和3 1年度から元年度～

令和元年11月2日～3日
ジャパンハーヴェスト2019に出展しました。

令和元年11月8日
日経BP社
東京サステナブル・シーフード・シンポジウム
分科会にメンバーが出演。

活動実績～令和3 1年度から元年度～

令和元年8月7日～8日
こども霞ヶ関見学デーにメンバーが登場！

令和元年10月1日～31日
阪神百貨店のチラシ
「10月は魚食普及月間」にレシピを提供。

「水産女子」オスメお魚メニューのレシピをご紹介します。
皆様にご覧いただき、ぜひお魚を食べてほしいという思いから、
「水産女子」オスメお魚メニューのレシピをご紹介します。

令和元年9月18日
JF全国女性連フレッシュ・ミズ・プログラム
(西日本)でメンバーが講演しました。

活動実績～令和3 1年度から元年度～

令和元年6月7日に第2回推進会議が行われました。
メンバーは34人。

ロゴマークの登場！第2回推進会議開催

活動実績～令和30年度

平成30年11月25日
Fish-1グランプリにブース出展しました。

平成31年3月23日
第5回国際女性会議WAW! /W20
にブース出展しました。

活動実績～令和30年度

第1回推進会議が行われました。
初期メンバーは16人。

平成30年11月16日

海の宝! 水産女子の元気プロジェクト立ち上げ!

参画企業との連携①

会社名	株式会社NTTドコモ
プロジェクト名	スマート水産業応援プロジェクト
事業内容	水産女子の考える「スマート水産業」実現のため、IoTやICTを用いて、現場での課題解決を図る。 渚泊などの推進やブランディングなどでも協業し、女性発信による水産業の力、企業イメージを情報発信する。

会社名	株式会社モンベル
プロジェクト名	モンベルフィールドウェア(漁業ウェア)開発プロジェクト
事業内容	水産女子の目線で、快適かつファッショナブルなウェアを開発する。

会社名	株式会社 メトロ アド エージェンシー
プロジェクト名	ジャムムプロジェクト
事業内容	水産×ジャムムのLINEスタンプの制作、オリジナルキャラクターの制作、イベントでのタイアップ(着ぐるみの貸し出しなど)により、漁業・水産業に従事する方を盛り上げる。

会社名	カネコ総業株式会社
プロジェクト名	可愛くて愛着があり、いつもそばに置きたい、らっくらく~の道具づくり開発プロジェクト
事業内容	水産女子の現場での声を集め、女性のための道具づくりを通して水産業を盛り上げるお手伝いを行う。

会社名	株式会社テイクジーン
プロジェクト名	<みんなでキレイな手！>水産女子によるHAPPY！PROJECT
事業内容	水産女子の手の悩みに適したハンドクリームを、その悩みに寄り添いながら一緒に開発。ゆくゆくは消費者まで広め、水産女子をPRしながら<みんなでキレイな手！>を目指す。

会社名	株式会社NECライブックス
プロジェクト名	海の宝、発掘プロジェクト
事業内容	水産女子が活躍するビジネスとの協業。魚を使用した社員食堂メニュー化により、水産女子の活動と水産業の力を情報発信する

参画企業との連携②

会社名	田中産業株式会社
プロジェクト名	水産女子×農業発Bloomブランド「映える水産女子プロジェクト」
事業内容	水産女子や、働く女性が欲しい！と感じる公式商品などを企画開発し、Instagram等SNSで映える水産女子をPR。認知向上と将来の水産を担う世代に海の宝を引き継ぐブランディングプロジェクト。

会社名	楽天グループ株式会社
プロジェクト名	ラクマ産直プロジェクト
事業内容	フリマアプリの楽天「ラクマ」にて実施する特別プロジェクトを通じて、水産女子のみならず、さまの販路拡大につながるプロモーション・PRを行います。

会社名	味の素株式会社
プロジェクト名	味の素+農業女子PJ+水産女子PJ 減塩レシピコンテスト
事業内容	農業女子及び水産女子から減塩レシピを募集、ビッグ・エーで減塩レシピの展開と消費者キャンペーンを行い、レシピコンテストを開催します。

会社名	株式会社地元カンパニー
プロジェクト名	「地元の水産女子 カタログギフト」プロジェクト
事業内容	日本全国の水産女子の水産物を載せた「地元の水産女子 カタログギフト」を発売する。

会社名	株式会社 三越伊勢丹
プロジェクト名	FOOD & TIME ISETAN YOKOHAMA ×農業女子PJ×水産女子PJコラボ企画
事業内容	FOOD & TIME ISETAN YOKOHAMAに出店しているテナントと協力し、水産女子の水産物をコラボ商品として販売。企画を通じて水産女子プロジェクトと水産物の美味しさをPR。

情報発信

- ◆ SNS等を活用し、水産女子プロジェクトのPR、メンバーの情報を発信。
- ◆ より気軽な広報を目的として、チラシ・ピンバッジを作成。

1.SNSによる情報発信

• Instagram

水産女子おすすめの魚料理や、メンバーの活動紹介等を定期的に発信。水産女子の有志の方々の協力により運営しております。

2023年から運用を開始、フォロワー数400人突破！

• Facebook

設当初は300人ほどだったフォロワーが、1,200人を超えました。メンバーの活動情報などを発信し、より多くの「水産女子ファン」に有益な情報を提供できるよう、運営してまいります。

- ◆ SNS等を活用し、水産女子プロジェクトのPR、メンバーの情報を発信。
- ◆ より気軽な広報を目的として、チラシ・ピンバッジを作成。

2.水産女子ピンバッジ完成 3.配布用チラシを作成

デザインはメンバーへのアンケートにより決定。

- ・水産女子PJに参加している証となる。
- ・本プロジェクトに更なる一体感を生む。
- ・水産女子メンバーの取組の知名度アップに繋がることを期待しています。

個人活動の際にも気軽に水産女子プロジェクトの紹介ができるよう、配布用チラシを作成しました。

実際にサロンドアグリ等の商品販売会時に配布し、プロジェクトの存在をPRすることができました。

【参考資料】

水産女子プロジェクト
設立の背景・経緯

プロジェクト設立の背景・経緯①

日本の漁業の生産量は1984年をピークに減少傾向、生産額は近年上昇傾向にあるが、ピーク時の2分の1程度にまで落ち込んでいる。

漁業部門別生産量等の推移

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計年報」

漁業生産額の推移

資料：農林水産省「漁業産出額」

プロジェクト設立の背景・経緯②

人口1人当たりの食用魚介類の消費量は減少が続いている。また、生鮮魚介類の1世帯当たり年間支出額も減少傾向にある。

食用魚介類の1人1年当たり消費量の推移

食用魚介類の1世帯当たり年間支出額の推移

資料：農林水産省「食料需給表」

注：農林水産省では、国内生産量、輸出入量、在庫の増減、人口等から「食用魚介類の1人1年当たり供給純食料」を算出している。この数字は、「食用魚介類の1人1年当たり消費量」とほぼ同等と考えられるため、ここでは「供給純食料」に代えて「消費量」を用いる。

資料：総務省「家計調査」

注：二人以上の世帯

プロジェクト設立の背景・経緯③

漁業就業者数は、他の業種同様、人口減少に伴い、減少している状況である。

資料：農林水産省「令和元年漁業構造動態調査」(組換集計)(令和元(2019)年)、「漁業センサス」(平成15(2003)年、20(2008)年、25(2013)年及び30(2018)年)及び「漁業就業動向調査」(その他の年)

プロジェクト設立の背景・経緯④

漁業就業者に占める女性の割合は約12%と低くなっているが、漁獲物の仕分けなどの水揚げ後の陸上作業(女性約36%)や、漁獲物の主要な需要先である水産加工業(女性約60%)においては、女性が重要な役割を果たしている。

漁業・水産業全体に占める女性の割合
約37%

資料：農林水産省「漁業就業動向調査（平成29（2017）年）」（漁業就業者）及び「2013年漁業センサス」（陸上作業従事者及び水産加工場従事者）に基づき水産庁作成

➤ **漁業・水産業に従事する女性にスポットライトを当て、自らの意欲と能力を発揮して前向きに取り組む女性を応援**

➤ **「海の宝!水産女子の元気プロジェクト」を立ち上げ**

海の宝！水産女子の元気プロジェクト

水産女子HP

SUISANJOSHI.PROJECT

水産女子
公式Instagram

水産女子
公式Facebook